

NEWS RELEASE

報道関係各位

2017.12.7
特定非営利活動法人 新公益連盟
(事務局: 一般社団法人RCF)

新公益連盟、「ソーシャルセクター組織実態調査2017」を発表 平均年収は「383万円」、独り立ち時期は「2.7年」。 NPOは「慈善活動の場」から「一般企業と遜色のない、キャリアアップの場」へ

RCFが事務局を務める「新公益連盟」(東京都港区、代表理事: 駒崎弘樹、事務局長: 藤沢烈)はこのたび、ソーシャルセクターにおける給与や働き方・キャリアなどの組織実態調査を実施し「ソーシャルセクター組織実態調査2017」としてWeb公開いたしました。

◆調査を実施した背景

2011年東日本大震災以降、ソーシャルセクターの役割は高まり注目を集めている一方、いまだに「ソーシャルセクターは給与が低く魅力的な労働環境とはいえない」というイメージがあります。

そこで新公益連盟は、給与・働き方・キャリアなどソーシャルセクターの組織実態を明らかにするため、新公益連盟の加盟団体を対象に調査実施し、一般企業との比較もふまえた調査結果をこのたび発表しました。

◆調査結果の要旨

今回の組織実態調査を通じて、アンケートに回答したNPO等の団体の多くが、一般企業と比較して給与水準は引けを取らず、多様な働き方を導入しており、生産性高い職場環境を整えつつあることが明らかになりました。ソーシャルセクターにつきまとう「自己犠牲」「ボランティア」「給与が低い」といったイメージを覆すデータが出てきており、今や就職・転職市場において普通に選択肢になりうることを示唆します。

- ✓ 一般職員の平均年収: 一般中小企業の非役職勤務者「291万円」に対し、ソーシャルセクターの一般職員の平均年収は「339万円」(管理職含めた全体では「383万円」)と引けを取らない
- ✓ 平均残業時間: 月平均で一般企業は「22.4時間」に対し、ソーシャルセクターは「13時間」と少ない
- ✓ リモートワーク(在宅勤務含む)やワークシェアリングなど、多様な働き方を認める人事施策の導入は一般企業以上に進んでいる
- ✓ 新卒職員の独り立ち時期: 一般企業は「4.8年」に対し、ソーシャルセクターは「2.7年」と早い
- ✓ 離職率は一般企業「11%」に対しソーシャルセクターは「34%」と高い。ただし手厚い育成を受けた結果、転職後キャリアアップを果たしている事例も存在する
- ✓ 今後の売上・雇用の成長に対する経営者の強い意志は存在し、セクターとして更なる成長も期待される

◆調査概要

- 対象者: 新公益連盟に加盟する77団体の経営者・人事責任者
- 期間、回収方法: 2017年8月21日~9月13日 (Web回答形式アンケート)
- 回答数: 44団体
- 回答団体に関する基礎情報:
 - 平均売上規模(年間): 2億6000万円
 - 平均正規職員数: 31人
 - 平均創業年数: 9.4年
 - 事業領域: 子どもの健全育成・国際協力・職業能力の開発又は雇用機会の拡充の支援・まちづくりの推進・保健、医療又は福祉の増進・人権の擁護又は平和の活動の推進 など

◆調査報告書

「ソーシャルセクター組織実態調査2017」資料は、下記URLより取得してください。

http://rcf311.com/wp-content/uploads/2017/12/ソーシャルセクター組織実態調査2017_新公益連盟_171206.pdf

※本調査結果を使用される場合は<「新公益連盟」調べ>とご記載ください。

◆新公益連盟について <http://www1.shinkoren.org>

代表理事: 駒崎弘樹(認定NPO法人フローレンス代表理事)

事務局長: 藤沢烈(一般社団法人RCF代表理事)

2016年設立。社会課題解決のための制度改革や様々なセクターとの協働、ソーシャルセクターの経営力強化に取り組む。2017年11月NPO法人化。加盟団体数95団体(2017年12月現在)。

◆お問い合わせ先

内容に関するお問い合わせ: 新公益連盟 事務局(一般社団法人RCF内) 佐藤

Mail: info@shinkoren.org

報道関係のお問い合わせ: 一般社団法人RCF 広報担当 矢澤

Tel: 03-6447-0041 Mobile: 050-5897-1119 Mail: pr@rcf.co.jp